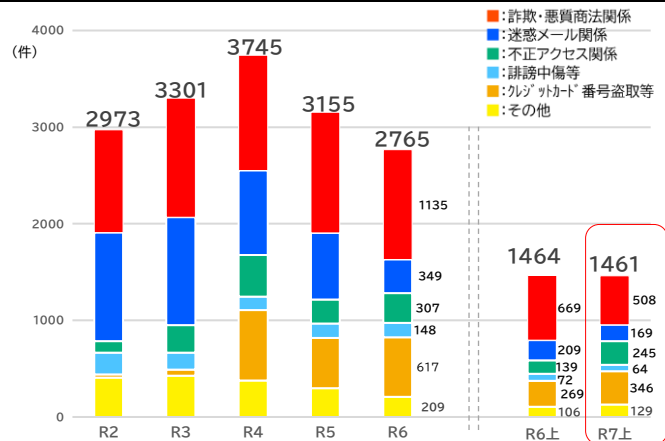


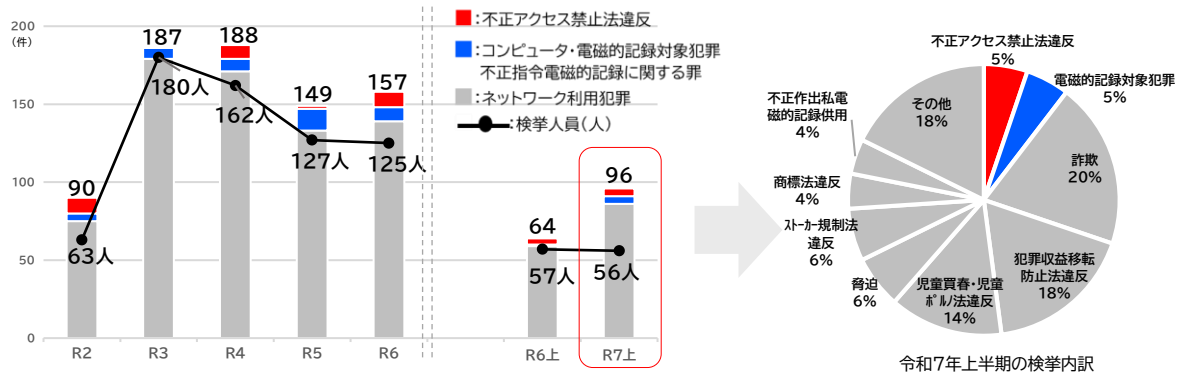
1 サイバー関係相談受理状況

- 令和5年から減少傾向にあったが、今年は前年並みの件数で推移
- 最も多いのは508件の「詐欺・悪質商法関係」で、そのうち146件がネットショッピング詐欺、123件がサポート詐欺
- 増加しているのは、証券口座の不正アクセス、SNSアカウントの乗っ取り等、不正アクセスに関する相談245件（前年比+76.3%）、クレジットカード番号の盗取等に関する相談346件（前年比+28.6%）



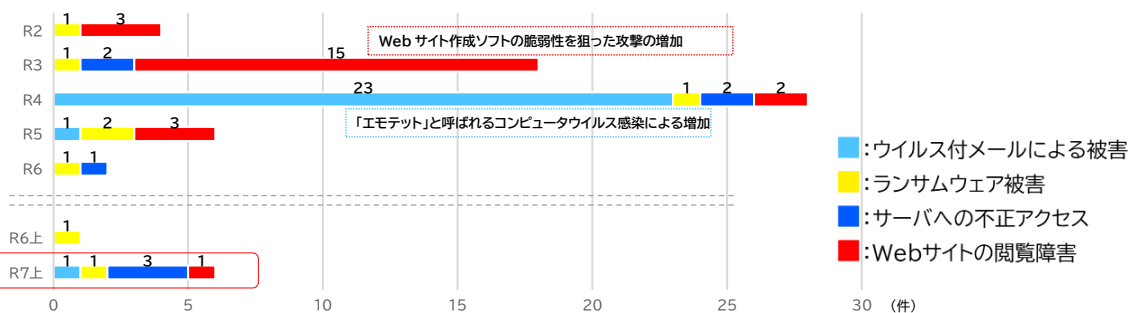
2 検挙状況

- 前年比では検挙人員に大きな増減はないが、検挙件数は96件（前年比+50%）で増加
- 罪種別では、詐欺、犯罪収益移転防止法違反、児童買春・児童ポルノ法違反の検挙が多く占める。



3 県内事業者等へのサイバー攻撃認知件数

一般企業や公的機関が管理するサーバへの不正アクセス事案等が増加（1件→6件）



4 抑止に向けた取組

- 体験型サイバーセキュリティセミナーの開催（R6 上半期：28回、R7 上半期：45回）
中小企業等を対象とした「ランサムウェア」等のサイバー攻撃被害を体験できるセミナーの開催
- サイバー防犯教室の開催（R6 上半期：43回、R7 上半期：36回）
小中学校等において、子どもたちのITリテラシー向上による犯罪被害防止教室を開催
- サイバーセキュリティ情報の発信
FMラジオ、防犯アプリ「ぼけっとポリスしが」、「コネクトSHIG@」等による情報発信